



AQU 先端テクノロジー総研 《ニュースリリース》 2020/12/23

- マインドフルネス瞑想関連市場、40%強の成長へ！
- 瞑想アプリから、ハード、サービスへと周辺ビジネス拡大
- 瞑想を核としたビジネス、トランステックの重要なフィールドとして発展！
- トランステック、瞑想関連ビジネス調査報告書まとまる！ AQU先端総研

<https://www.aqu.com/transtech/>

<https://www.aqu.com/aqu-news/2020-12-23.pdf>

ニュースリリース

<https://www.aqu.com/>

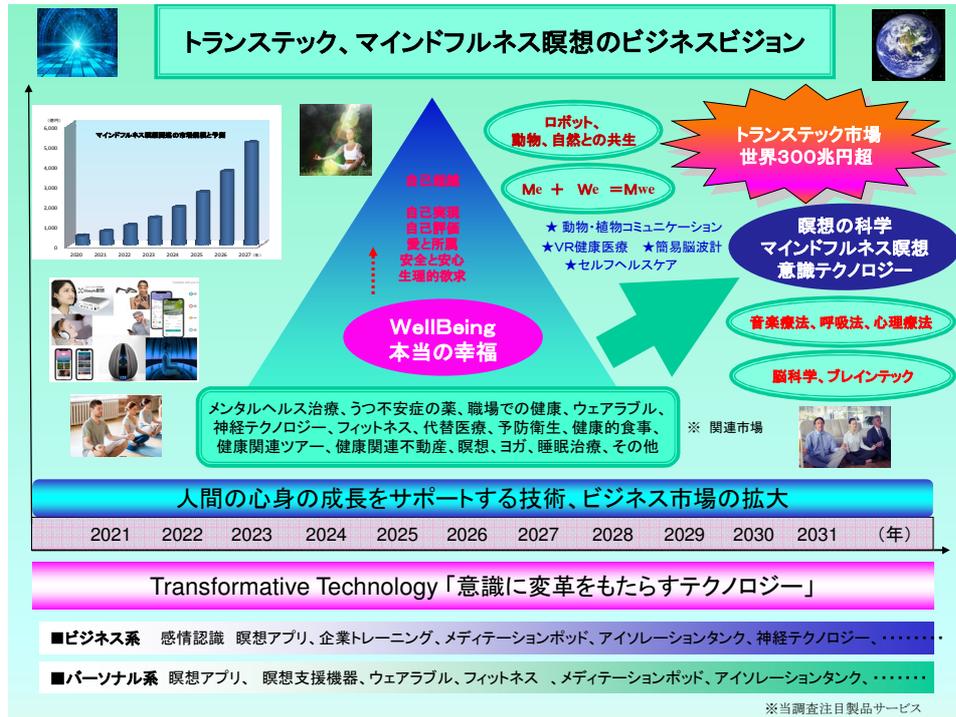


## ■概要

瞑想アプリが世界的な拡がりを見せる中、マインドフルネス瞑想関連市場は、今後40%強の高成長が予測される。瞑想支援のハード、サービスなど周辺ビジネスも市場拡大の兆し。瞑想の科学、意識テクノロジーの研究は、ITに脳科学や心理学を組み合わせ、人間の心身の成長をサポートするという、トランステック(TransTech)、すなわち、トランスフォーメティブテクノロジー(Transformative technology=変化を促す技術)の市場を牽引してゆく。この技術はAI、ビッグデータ、脳科学などとも融合し、世界へ向けて、日本企業の得意とする生体センサーデバイスなどの活躍の範囲が大きく広がってゆく可能性がある。民間の先端テクノロジー調査会社のAQU先端テクノロジー総研(代表、子安克昌)がこのたび、調査報告書『トランステック、マインドフルネス瞑想の需要動向と市場予測に関する調査 -瞑想支援機器、アプリ、意識テクノロジーの未来戦略-』をまとめ発

刊した。

■トランステック、マインドフルネス瞑想のビジネスビジョン



■調査報告書の解説

- 最先端テクノロジーとして、最近にわかに注目されてきた、トランステック(TransTech)。それは、トランスフォーマティブテクノロジー(Transformativetechnology=変化を促す技術)のことであり、ITに脳科学や心理学を組み合わせ、人間の心身の成長をサポートするものである。またメンタル、感情、心理面において人間の心身の健康(Well-being、心身ともに満たされた状態)を実現するテクノロジーであり、人間の進化を支援する技術ともいわれる。トランステック・ビジネスの市場は広範な領域を含み、内訳としてはメディテーション、フィットネス、メンタル治療、神経テクノロジー、感情認識、ウェアラブルなど多岐にわたる。今後、市場規模は3兆ドル規模になるとの試算がある。
- トランステックが全世界に拡がろうとしているが、振り返って日本の関連市場を見渡してゆくと、すでにトランステックの萌芽が日本にあったといってもよいのでは、と思われることがある。弊社では、1994年に、『こころビジネス(ハイパーブレイン)に関する調査』を行った。当時注目された研究者や製品開発を調査したが、この中に、左右の耳からそれぞれ違う周波数の音を聴かせると、その周波数の差により、頭の中にうなり音が生じ、α波が出せるという製品を政木和三博士(1916～2002年)が開発していたという記載がある。当時、音楽業界のヒット曲ランキングなどを手掛けていた会社の社長は、人気や感動のメカニズムを研究していたが、この製品を上手に使っていくと、呼吸法や瞑想を行う時に、早く変性意識状態に入れると話していた。
- 現在、世界的にはマインドフルネス瞑想アプリの利用が拡がっている。同アプリは、世界的な新型コロナウイルスの拡がりを背景に、ストレスの軽減、集中力の向上などの目

的で企業の社員向けや一般利用者向けに急速に市場拡大している。

- ▶ マインドフルネス瞑想アプリの世界市場規模は、2020年、375百万ドル(見通し)であり、2021年、550百万ドルと予測。5年後の2025年には、2,240百万ドルになると予測される。ここ数年高い伸び率で推移、2023年以降、年平均成長率は40%強で推移してゆくと見ている。キープレーヤーとしては、Headspace、Calm などがあり、日本でもラッセルなどのマインドフルネス関連企業が注力している。
- ▶ マインドフルネス瞑想、あるいはヨガ、禅といったものが、ウェルビーイングにつながっており、ここにおいて、瞑想を核としたビジネスはトランステックの重要なフィールドとして発展してゆく可能性がある。瞑想の科学、意識テクノロジーの研究は、瞑想支援ハード、アプリ、サービスを拡大発展させてゆく。こうした技術はAI、ビッグデータ、生体センサーなども融合し、関連市場を活性化させてゆくと考えられる。
- ▶ ところで、「人間は自己実現に向かって絶えず成長する」という仮説をもとに、マズローは欲求5段階説を唱えている。調べてゆくと、トランステックの究極の本質は、5段階のさらに最上位に位置づけられる、「自己超越」欲求と考える研究者がいる。シリコンバレーのコンファレンスでは、Me+We=MWe (わたしから、わたしたちへ)という視点が論ぜられた。意識が高まってゆくことは、自分自身のことだけでなく、利他、他を思いやる心にもつながってゆく。豊かな社会づくりにも関係する。
- ▶ 2,400人の意識調査では、「瞑想することがある」と回答した人の71.0%が、睡眠改善アプリに関心を持っている。また、61.9%が、脳波誘導シンプル機器に関心を持っている、さらに、61.7%が、瞑想室(瞑想ポッド)に関心を持っている、ということが分かった。瞑想アプリサービス、支援機器システムの潜在需要は大きいと考えられる。当調査報告書は内外の市場動向、実際の需要動向調査をふまえ、トランステック、とりわけ、マインドフルネス瞑想関連の市場動向、市場予測、さらに、ビジネス戦略構想についてまとめた。当調査報告書が皆様のビジネス開発、研究開発、製品サービス開発に少しでも寄与できれば幸いである。

AQU先端テクノロジー総研

## ■ 調査テーマ



『トランステック、マインドフルネス瞑想の需要動向と市場予測に関する調査  
-瞑想支援機器、アプリ、意識テクノロジーの未来戦略-』

<https://www.aqu.com/transtech/>  
ISBN 978-4-904660-44-7

■ 調査スケジュール 2020年8月1日～2020年12月22日

## ■ 調査の実施

AQU 先端テクノロジー総研  
トランステック、マインドフルネス瞑想市場調査プロジェクト

【調査ポイントの一例】

**トランステック、マインドフルネス瞑想のビジネスビジョン**

トランステック市場 世界300兆円超

ロボットの進化、自覚への進化

マインドフルネス瞑想 意識テクノロジー

WellBeing 本当の幸福

メンタルヘルス治療、うつ不安症の薬、職場での健康、ウェアラブル、神経テクノロジー、フィットネス、代替医療、予防衛生、健康的競争、健康関連ウェア、健康関連不動産、瞑想、ヨガ、経絡治療、その他

人間の心身の成長をサポートする技術、ビジネス市場の拡大

2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 (年)

Transformative Technology 「意識に変革をもたらすテクノロジー」

■ビジネス系 感情認識 瞑想アプリ、企業トレーニング、メディテーションロボット、アイソレーションタンク、神経テクノロジー、……

■パーソナル系 瞑想アプリ、瞑想支援機器、ウェアラブル、フィットネス、メディテーションロボット、アイソレーションタンク、……

※調査調査日製品サービス

**「瞑想することがある」と答えた人の7割、10人に7人は、睡眠改善アプリに関心!**

「瞑想することがある」 16.4%

「瞑想することがある」と答えた人の7割、10人に7人は、睡眠改善アプリに関心!

「ぜひ使ってみよう、使ってみよう」 71.0%

「瞑想することがある」と答えた人は、71.0%が、睡眠改善アプリに関心を持っている。

2,400人 意識調査  
( AQU先端テクノロジー総研 2020年12月8日～12月11日 実施 )

**「瞑想することがある」と答えた人の6割、10人に6人は、脳波誘導シンプル機器に関心!**

「瞑想することがある」 16.4%

「瞑想することがある」と答えた人の6割、10人に6人は、脳波誘導シンプル機器に関心!

「ぜひ使ってみよう、使ってみよう」 61.9%

「瞑想することがある」と答えた人は、61.9%が、脳波誘導シンプル機器に関心を持っている。

2,400人 意識調査  
( AQU先端テクノロジー総研 2020年12月8日～12月11日 実施 )

**「瞑想することがある」と答えた人の6割、10人に6人は、瞑想室(瞑想ポッド)に関心!**

「瞑想することがある」 16.4%

「瞑想することがある」と答えた人の6割、10人に6人は、瞑想室(瞑想ポッド)に関心!

「ぜひ使ってみよう、使ってみよう」 61.7%

「瞑想することがある」と答えた人は、61.7%が、瞑想室(瞑想ポッド)に関心を持っている。

2,400人 意識調査  
( AQU先端テクノロジー総研 2020年12月8日～12月11日 実施 )

※ 調査の一部

※お問い合わせ連絡先

株式会社 AQU 先端テクノロジー総研  
<http://www.aqu.com/>

〒260-0027 千葉市中央区新田町 36-15  
 千葉テックビル 6F  
 TEL 043-204-1258  
 FAX 043-204-1316  
 子安、那須  
[info@aqu.com](mailto:info@aqu.com)